

『うつくしま、まちづくり推進レポート』

Vol. 19

平成17年12月6日発行

1 「歴史的地区環境整備街路事業推進協議会第10回講習会」を開催しました

歴みち協議会(講習会)とは・・・

歴史的なまちなみ整備の在り方などを検討するため、歴史的地区環境整備街路事業を実施もしくは予定の全国82の地方公共団体等で組織される団体で、現在福島県土木部長が会長を務めております。

本講習会は協議会活動の一環として、毎年1回開催されるもので、今年度は全国から約170名が参加し、会津若松市及び下郷町で10月20日～21日に開催されました。

講習会の内容

20日の講習会では、会津大学短期大学部産業情報学科教授の時野谷茂氏から「日本近代建築の保存から”まちづくりへ”」、(有)渋川問屋代表取締役で会津若松商工会議所副会頭の渋川恵男氏から「歴史的建物の活用と中心街活性化」、そして大内宿結いの会顧問を務める吉村徳男氏から「大内宿の保存と活用」と題し講演をいただきました。

また、翌21日には現地調査が行われ、会津若松市の北出丸通り、野口英世青春通り、七日町通りを、その後下郷町に移動して昔ながらの生活スタイルが残されている大内宿の街並みを視察しました。

七日町通りの賑わい創出や、大内宿保存への取り組みについて感心していた受講生が多数おりました。



講習会全景



現地調査状況(北出丸通り)



現地調査状況(野口英世青春通り)



現地調査状況(大内宿)

(1) 愛媛県西予市の紹介

愛媛県西予市は平成16年4月1日に、5つの町が合併(面積は514.8Km²で、県内では田島町と伊南村を合わせた面積と同程度)した酪農や林業などが盛んなまちです。

まち中には、江戸末期から明治初期にかけて造られた白壁や出格子の建造物が残っており、これらを活用したまちづくりが行なわれております。

(2) なかのちよう 中町の町並みの紹介

江戸末期から明治初期に造られた白壁や出格子の歴史的建造物が立ち並んでいる町並みです。

幕藩時代には宇和島藩の在郷町として栄えたそうです。

シーボルトの愛弟子である二宮敬作や、シーボルトの娘である楠本イネらも往来した通りとしても有名であり、訪れる観光客も絶えないそうです。



中町の町並み(1)



中町の町並み(2)



町並みに配慮したごみ集積所



町並みの略図

(3) 開明学校の紹介

開明学校は明治15年に建築され、当時としては舶来のガラスを使ったモダンな校舎として一世を風靡したそうです。

昭和62年に長野県松本市にある国の重要文化財「旧開智学校」との姉妹館提携が結ばれ、平成9年5月には地方における小学校の建築として国の重要文化財に指定されたそうです。



開明学校全景



内部の様子

昔の教室がそのまま残されており見学可能です。

(4) 米博物館の紹介

昭和3年に建てられた旧宇和町小学校校舎を移築し、米の博物館としたもので昭和63年までは実際に小学校として使われていました。

旧宇和町は宇和米の名産地ということもあり、移築した校舎を米の博物館としたそうです。

小学校時代の名残である百間廊下(109m)は、日本一の長さの木造廊下です。

廊下沿いに造られた12の展示室(かつては教室)ではそれぞれの展示室ごとに農耕の歴史、米の種類、米作りの過程などを実物標本を用いて解説してあります。



米博物館の全景



米博物館内部

この廊下が百間廊下です



農耕具の展示室



米の種類展示室

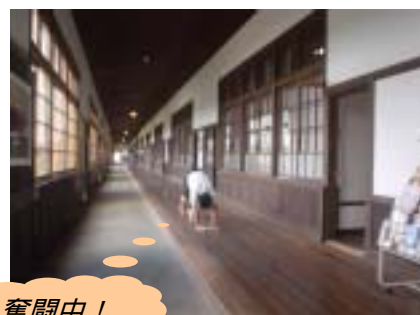
3 ちょっと一息 ~ 雑巾がけにチャレンジ ~

先ほどご紹介した「米博物館」ですが、百間廊下の雑巾がけにチャレンジすることができるんです。

試しに私もチャレンジしてみました。50m付近から足がもつれて大変でした。

なんとかゴールはしましたが終わってから20分くらいは動けませんでした。

みなさんもお近くに行ったら小学校の掃除を思い出してチャレンジしてはいかがでしょうか？



奮闘中！

4 まとめ

Vol.17～今回のVol.19まで3回にわたり、他県の事例調査をご紹介しました。

ご紹介した3市町は、それぞれの地域の歴史的な資産を活かしながらソフト面の連携を行い、広域的なまちづくりを行っております。まちづくりを考える場合、広域的な連携も大切だと思います。

実際に現地を調査して、住民の方が「自分の住んでいるまちを少しでも良くしたい」という気持ちが伝わってきました。

住民の方が中心となりまちづくりを行うことの重要性を再認識しました。

5 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート Vol.19」はいかがでしたでしょうか。

今後も充実した内容となるよう努力していきたいと思っておりますので、取り上げて欲しい事例やご意見、ご要望、ご質問などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

メールマガジン（無料）の申し込みをご希望される方は、

1. 団体会社名、2. 氏名、3. メールアドレス、4. 電話番号等（送信エラーの際のご連絡のため）、
よろしければ、**5. 性別、6. 年齢**を記入の上、**まちづくり推進グループのメールアドレス**まで希望する旨ご連絡下さい。（E-mail : machizukuri@pref.fukushima.jp）

登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

【発行元】 福島県 土木部 都市領域 まちづくり推進グループ

電話：024-521-7510

FAX：024-521-7956

E-mail : machizukuri@pref.fukushima.jp

U R L : <http://www.pref.fukushima.jp/toshi/machizukuri.html>